



マレーシア、エジプトなどの政府代表ほか
20数カ国、百人近い海外代表も参加

核兵器のない平和で公正な世界を 長崎大会に7千人が参加

今年も七日～九日、原水爆禁止世界大会に参加しました。今年の大会は、久間前防衛大臣の「原爆投下はしようがない」発

原爆被害は過去の問題ではない

二日目は、「被爆・核被害の実相の普及、支援と連帯」の分科会に参加しました。

熊本地裁原告団事務

局長の中山高光さんが、原爆被害は、過去の問題ではなく、六十一年たつても今なお深刻な原爆被害があることを一番わかつて欲しいと訴えました。原告に、私もショックを受けました。

また、アメリカでの訴えの体験から、ペルハーバーに対する謝

政府は原爆症訴訟の控訴を取り下げよ

言、参院選で改憲を掲げた安倍政権の与党、自民党・公明党の歴史的大敗、原爆症認定訴訟の熊本地裁での勝訴判決など、重要な情勢

原水爆禁止世界大会に参加してー中谷光夫

の中で開かれました。

開会総会では、韓国代表による「韓国にも平和憲法を」の横断幕に感激しました。

政府は、数年ぶりの被爆者との懇談で安倍首相が表明した「原爆症認定基準の見直しの検討」の舌の根も乾かないうちに、熊本地裁判決を認めず控訴しました。「見直し」が本気なら、直ちに控訴を取り下げるべきです。

任意継続の届出は訴えの体験から、ペルハーバーに対する謝

ある学校のキャンプで、教師が肝試しに原爆被害者の写真を使うという事件だったことに、私もショックを受けました。

また、ロシアのチニリヤビンスク核被害者団体の2人の女性は、小一から高一までの子どもが、汚染された※

罪をしたうえで、「原爆投下は許さないが、報復は求めない」と呼びかけ、共感を広げてきましたと語りました。

フィジーのポール・アーポイさん(フィジー核実験被爆復員兵士の会)は、イギリスがクリスマス島などでおこなった核実験で、モルモット扱いされた被害を訴えました。

また、ロシアのチニリヤビンスク核被害者団体の2人の女性は、小一から高一までの子どもが、汚染された※

※建物の撤去作業やジャガイモの収穫作業に動員され、ある村では、従事した八百人の子ども内、生存者は三十人、今も多くの住民が、政府の補償金で生活し、汚染地域から離れられずに住み続ける実態を報告しました。



中林
かずえ

勤務時の社会保険料は、月1万508円でした。2年間の任意継続は届出期限を過ぎてしまい、できなかつたとのことでした。

任意継続の説明がきちんとされていないのは残念です。

結局、減免申請をして下がりましたが、やはり、高い保険料です。

法律相談

とき: 8月23日(木)夜6時半～

ところ: 市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議団まで

映画の上映 「日本の青空」

とき: 9月9日(日)

ところ: 寝屋川市民会館

時間 ① 午前10時～午後1時30分
② 上映2回あります

(前売り券) おとな 1300円・子ども 1000円